

## THE HOGAKU RONSHU

THE LAW REVIEW  
OF  
KANSAI UNIVERSITY

SEPTEMBER 2019

VOLUME LXIX

NUMBER 3

## Articles

- The Osaka Double Elections in April 2019 ..... *Kanji TOKURA* (1)
- Rechtliche Regelungen zur Fortpflanzungsmedizin,  
Gentherapie und Embryonenforschung bei Menschen  
— aus der Sicht des Strafrechts in Japan  
und Deutschland — (2) ..... *Keiichi YAMANAKA* (46)
- Das Feststellungsverfahren der  
titulierten Konkursforderungen (1) ..... *Takashi KURITA* (139)
- Keine rechtsförmliche Lebenspartnerschaft für  
Menschen gleichen Geschlechts  
— verfassungsverstoß oder verfassungsgebot? ..... *Emi NISHIMURA* (154)
- Validity of Lien between Merchants on Real Estates ..... *Hiroaki HARA* (205)
- Global South and Human Rights :  
The Possibilities of “the Vernacular Theory  
of Human Rights”(2) ..... *Mitsuhide KIMURA* (219)
- Some Comments on a Theory that Traditional  
Chinese Law was the Law without Rules ..... *Haruhito SADATE* (1)

## Translations

- James Anaya,  
‘Report of the Special Rapporteur on the situation  
of human rights and fundamental freedoms  
of indigenous people’ (A/HRC/15/37) ..... *Takeshi TSUNODA* (262)
- Frank Saliger,  
Strafbarkeitsrisiken ärztlicher Sterbebegleitung  
in Deutschland ..... *Mitsuru IJIMA* (292)

## Materials

- The Report on Correctional Institutions between 2016 and 2017  
..... *Kenji NAGATA* (309)
- Korean Supreme Court Decision 2013Da61381  
Decided October 30, 2018 ..... *Namhee KWON* (316)

THE LAW SOCIETY OF KANSAI UNIVERSITY  
OSAKA, JAPAN

關西大學

## 法學論集

第69卷 第3号

令和元年9月

## 論 說

- 2019年4月大阪ダブル選挙の問題点 ..... 土 倉 莞 爾 (1)
- ヒトに関する生殖医療、遺伝子治療および  
胚研究の法的規制 ..... 山 中 敬 一 (46)
- 日独の刑法の観点から—— (2・完)
- 有名義破産債権の確定手続 (1) ..... 栗 田 隆 (139)
- 同性婚の未規定性の憲法適合性 ..... 西 村 枝 美 (154)
- 婚姻の自由ではなく人格権の問題として——
- 不動産に対する商人留置権の成否：  
最判平成29年12月14日をふまえた  
抵当権者と留置権者との関係の再検討 ..... 原 弘 明 (205)
- グローバル・サウスと人権 ..... 木 村 光 豪 (219)
- 「人権のヴァナキュラー理論」の可能性 (2)
- 旧中国の法律は「非ルールの」である  
という説に対する論評 ..... 佐 立 治 人 (1)

## 翻 訳

- ジェイムズ・アナヤ  
「国連・先住民族の人権と基本的自由に関する  
特別報告者報告」(A/HRC/15/37) ..... 角 田 猛 之 (262)
- フランク・ザリガー  
「ドイツにおいて医師による死の看取りが  
処罰されるリスク」 ..... 飯 島 暢 (292)

## 資 料

- 施設見学記録 (平成28年及び同29年分) ..... 永 田 憲 史 (309)
- 強制動員被害に関する韓国大法院判決  
大法院2013다(ダ) 61381判決 ..... 権 南 希 (316)

關西大學法學會

關西大學  
法學論集第六十九卷  
第三号令和元年  
九月關西大學  
法學會

## 執筆者紹介

土倉莞爾	関西大学名誉教授
山中敬一	関西大学名誉教授
栗田隆	関西大学教授
佐立治人	関西大学教授
西村枝美	関西大学教授
原弘明	関西大学准教授
木村光豪	関西大学非常勤講師
角田猛之	関西大学教授
飯島暢	関西大学教授
永田憲史	関西大学教授
権南希	関西大学教授

〈法学会記事〉

政治学研究会

〈日時〉 二〇一九年七月二〇日（土）

一四時〇〇分～一七時三〇分

〈場所〉 岩崎記念館二階会議室

〈報告〉 「エスノメソドロロジーの思想と政治学への応用」

西山真司氏

「NPOへの参加はなぜ忌避されるのか

——サーベイ実験を用いた説明」

坂本治也氏

〈出席者〉（五十音順）

五十嵐・大津留・岡本・柏原・梶原・河村・坂本・田

鍋・築山・津田・中村・西山・橋本・藤田・森本・安

武・若月

関西大学法学会役員（五十音順）

会長 小泉良幸	柄谷利恵子 川合昌幸 川口美貴 河村厚 木下智史(会計) 木原淳 金玲 権南希 葛原力三(監査) 久保宏之(会計) 隈元利佳 栗田隆 小泉良幸 後藤元伸 小西秀樹 近藤剛史 今野正規 酒井一 坂本治也(編集) 佐川友佳子 笹本幸祐(庶務) 佐立治人 佐伯和也	下村正明 白須真理子 高作正博 多治川卓郎 辰巳直彦 田中謙(会計) 津田由美子(編集) 角田猛之(庶務) 寺川永 寺島俊穂 中島洋樹(会計) 永田憲史 中野徹也 中村哲(編集) 中村知里 西平等(会計) 西澤希久男(庶務) 西村枝美 原弘明 馬場圭太(編集) 早川徹(庶務) 廣川嘉裕 福島豪 藤原稔弘	松尾知子 松代剛枝 水野吉章(会計) 村上幸隆 村田大樹 村田尚紀 元氏成保 森宏司(会計) 森田崇雄 森本哲郎 安武真隆(編集) 大和正史 山名京子 山名美加 山中友理 山本慶介 由喜門真治 横田直和 吉田栄司 吉田直弘(庶務) 吉田徳夫(編集) 若月剛史 若松陽子
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

前号目次（第69巻第2号）

論 説

ヒトに関する生殖医療、遺伝子治療および胚研究の法的規制……山中敬一  
——日独の刑法の観点から——（1）

インフラストラクチャー確保に係る  
憲法規定（基本法87e条・87f条）……荒木修  
グローバル・サウスと人権……木村光豪  
——「人権のヴァナキユラー理論」の可能性（1）

旧中国には裁判が無かったという説に対する論評……佐立治人

翻 訳

マリー＝クレール＝ポントロー  
「外国法と比較法—自律的な学問領域？」……村田尚紀

ジェイムズ・アナヤ  
「国連・先住民族の権利に関する特別報告者報告  
——先住民族の領域内もしくは周辺で  
稼働している採取産業」……角田猛之

刑法学におけるヘーゲルの遺産  
19世紀におけるヘーゲル学派（1）……飯島暢  
川口浩一  
山本和輝

関西大学法学会規則

- 第1条 本会は、関西大学法学会と称する。
- 第2条 本会は、法学の研究を促進し、かつ研究の成果を発表することを目的とする。
- 第3条 本会は、次の事業を行う。  
1 機関誌「関西大学法学論集」及び「関西大学法学会誌」の発行。  
2 その他本会の目的を達成するために必要な事項。
- 第4条 本会は、大阪府吹田市山手町3-3-35に置く。
- 第5条 本会は、次の者をもって会員とする。  
1 法学部及び大学院法務研究科（以下法科大学院と称す）の教授、准教授、助教、特別契約教授。  
2 政策創造学部教授、准教授、助教、特別契約教授であって入会した者。  
3 法学部、大学院法学研究科、法科大学院、政策創造学部またはガバナンス研究科の非常勤講師であって入会した者。  
4 法学部学生、大学院法学研究科学生及び法科大学院学生。  
5 政策創造学部の学生であって入会した者。  
6 法学部、政策創造学部、大学院法学研究科及び法科大学院の卒業生であって入会した者。  
7 その他評議員会の承認を得た者。
- 第6条 次の者を本会の名誉会員とする。  
1 法学部又は法科大学院に在籍した名誉教授。ただし、特別契約教授として在職中の者は除く。  
2 特に評議員会の承認を得た者。
- 第7条 本会に次の役員を置く。  
1 会長 法学部長をもって充てる。  
2 評議員 教授、准教授、助教及び特別契約教授をもって充てる。  
3 編集・庶務・会計各委員 評議員の中から評議員会において委嘱する。その任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。
- 第8条 第5条第1号及び2号の会員は会費年額12,000円を、同条第3号から7号までの会員は会費年額4,500円を納めることを要する。
- 第8条の2 会計年度は、毎年4月1日から3月31日までとする。
- 第9条 会員及び名誉会員は、機関誌「関西大学法学論集」及び「関西大学法学会誌」の配布を受ける。
- 第10条 この規則の改正は、評議員会の決議による。
- 付則 この改正規則は、2019年7月10日から施行する。

2019年9月2日 印刷 関西大学 第69巻  
2019年9月2日 発行 法学論集 第3号

編集兼 関西大学法学会  
発行人 振替 00910-4-66882

印刷所 (株)富山房インターナショナル  
東京都文京区千石2-25-11

発行所 関西大学法学会  
大阪府吹田市山手町3丁目3番35号  
関西大学法学部内

